

神経内科

(スタッフ)

部長 : 麻生 泰弘
副部長 : 石橋 正人 (2021. 4月から)
 : 岡崎 敏郎 (2021. 10月から)
医師 : 佐藤 龍一
 : 水上 健 (2021. 4月から)
 : 角 華織 (2021. 3月まで)
 : 中道 淳仁 (2021. 3月まで)
専攻医 : 内田 大達 (2021. 3月まで)

4月から石橋正人医師を副部長に、水上健医師を主任医師に迎えました。月・火の外来診療は後藤恵医師が担当いたしました。さらに10月からは岡崎敏郎医師を副部長に迎えることができました。外来診療では新患外来を1名/日、再来外来2名/日が担当し、ボトックス外来1回/週、電気生理検査2回/週を行っています。木曜日の午後にはカンファレンスと病棟回診を行い、入院患者の症例検討・情報共有を行っています。

(診療実績)

外来患者数は新患921名、再来8,255名でした(表1)。診療では地域との連携を意識し、紹介・逆紹介を積極的に行っています。新患外来では、昨年度から事前予約枠を2枠/日から6枠/日に増やし、待機負担の軽減、新型コロナウイルスをはじめとした感染の予防に努めています。

入院患者総数は457人でした。疾患別の内訳(表2)をみると、やはり脳血管障害が最多です。パーキンソン病の急性増悪や薬剤調整、髄膜炎や脳炎などの神経感染症、てんかんなどに加え、肺炎や尿路感染症、脊椎・脊髄疾患などの方も多く入院されていました。

(研修・教育)

新型コロナウイルスの感染状況により、今年も医学生のクリニカルクラークシップの中止を余儀なくされる時期が多くありました。

病院見学には、大分大学から石川健太郎君、中井祐太郎君(5年)、本多雄飛君(6年)、鈴木大雅君(5年)、林南奈さん(5年)が、今年1月には鳥取大学から工藤瑞紀さん(5年)が来てくれました。

卒後臨床研修として15名の研修医(丸山莉果、平田健悟、矢野文子、安東和真、鬼塚かやの、郡奈央、久保田勇輝、青木希実、小畑天義、柴田稔文、脇田貴大、

鈴木智也、調広二郎、中村裕太、豊田那智、敬称略)が当科で神経内科の研修を修めました(表3)。

10月には県立看護科学大学から老年看護学の研修目的に1名の看護学生を迎えました。

(今後の方向性)

高齢化に伴い、脳血管障害、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患患者数は急激に増加していることがわかっています。脳梗塞診療では、発症から治療開始までの時間がその後の予後を規定します。発症から4.5時間以内であればアルテプラザーゼ(t-PA)を用いた血栓溶解療法も可能で、症例によっては著効することもあります。当院では他診療科の協力をいただき、脳血管内治療(血栓回収療法)も行っています。発症から一刻もはやく治療を開始できるように、地域への啓発活動が重要と考えています。また、これまで治療が困難であった神経疾患の治療薬が次々と登場しています。今年度、当科ではアルツハイマー型認知症の新薬の治験にも参加しました。今後、新薬が承認され本疾患が治療可能となった際に、どのような形で当科が貢献していけるかを早急に考えていかなければなりません。急激に増加しているパーキンソン病患者の診療や、多発性硬化症やCIDPなどの再発を繰り返す神経疾患についても、診断技術の進歩・新規治療薬の登場によって、その診療はこれまでと大きく変わり、治療の可能性が広がっています。最大限の貢献ができるように、地域医療と連携を取りながら、診療・教育・啓発に努めていきます。

(文責:麻生泰弘)

表1 外来患者数・入院患者数の推移

(単位:人)

| | | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|-------|-----|--------|--------|--------|-------|-------|
| 外来患者数 | 新患 | 1,234 | 1,222 | 1,156 | 880 | 921 |
| | 再来 | 11,534 | 11,467 | 11,877 | 9,444 | 8,255 |
| 入院患者数 | 実数 | 521 | 485 | 485 | 454 | 457 |
| | 延べ数 | 9,744 | 10,739 | 11,595 | 8,870 | 8,795 |

表2 疾患別入院患者数 (2021年1月1日～12月31日)

| 入院患者総数 454名 | |
|--------------------|------|
| 脳脊髄血管障害 | 126名 |
| 脳梗塞 | 116名 |
| 一過性脳虚血発作 | 8名 |
| 脳出血 | 1名 |
| 脊髄梗塞 | 1名 |
| 髄膜炎・脳炎・脳症 | 53名 |
| 髄膜炎・髄膜症 | 27名 |
| 脳炎 | 15名 |
| 脳症 | 11名 |
| 脱髄性疾患 | 19名 |
| 視神経脊髄炎 | 7名 |
| 多発性硬化症 | 10名 |
| その他 | 2名 |
| 変性疾患 | 62名 |
| パーキンソン病 | 22名 |
| レビー小体型認知症 | 1名 |
| 進行性核上性麻痺 | 3名 |
| 多系統萎縮症 | 2名 |
| 脊髄小脳変性症 | 20名 |
| ALS/運動ニューロン疾患 | 10名 |
| その他 | 4名 |
| 脊髄・脊椎疾患 | 18名 |
| 脊椎・脊髄疾患 | 17名 |
| HTLV-1関連脊髄症 | 1名 |
| 末梢神経障害 | 25名 |
| 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 13名 |
| ギラン・バレー症候群など | 9名 |
| その他 | 3名 |
| 筋疾患 | 18名 |
| 皮膚筋炎/多発筋炎 | 2名 |
| 横紋筋融解症 | 3名 |
| 重症筋無力症 | 9名 |
| その他 | 4名 |
| その他 | 133名 |
| てんかん | 30名 |
| 肺炎・尿路感染症など | 23名 |
| 急性薬物中毒 | 7名 |
| 神経サルコイドーシス | 3名 |
| 精神疾患 | 5名 |
| その他 | 65名 |

表3 学生・研修医の実習状況 (2021年1月1日～12月31日)

| | | |
|---------|-----|----|
| 医学生 | | 5名 |
| 看護学生 | | 1名 |
| 初期臨床研修医 | 1年次 | 9名 |
| | 2年次 | 6名 |